

【2020 年度】

■国内学会：

- 1 鈴木達也：装具療法と環境設定により自宅退院した筋萎縮性側索硬化症。  
第 39 回東京都理学療法学会学術大会。2021.1
- 2 末永達也：実績指数 37 に及ぼす因子の検討。  
回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 3 福岡宏之：脳卒中患者における On the job training からみえた教育課題  
～指導記録の追跡調査報告～。回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 4 澤広太：回復期リハビリテーション病棟における若手セラピストおよび患者教育に対する臨床共有  
システムの取り組み。回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 5 高橋友樹：家屋評価を必要な方へ提案するために改善した取り組み。  
回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 6 伊藤和則：重症脳血管障害患者における退院時移乗 FIM の予測に影響する因子～一般化線形モデル  
での予測式作成の試み～。回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 7 石神佳祐：脳卒中回復期患者におけるメタタルザルパットが歩行速度および筋活動に向上がみられ  
た症例。回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 8 瀬戸山千佳：当院における自宅退院した脊椎圧迫骨折患者の FIM の特徴分析。  
回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 9 原藺迪子：回復期脳出血患者において高次脳機能障害がバランス能力評価に影響を及ぼしていたと  
考えられた症例。回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会。2021.3
- 10 小林崇宣：集団嚙下体操の取り組みと効果。  
回復期リハビリテーション病棟協会 web 研究発表会 2021.3
- 11 平澤津隼人：当院回復期脳血管疾患患者における長下肢装具作製者の特徴～実績指数に与える因子  
の検討～。日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会 2020。2020.11
- 12 田村実子：回復期病棟における時期的特性をとらえた治療により行動性の半側空間無視症状が改善  
し復職した一例。第 44 回日本高次脳機能障害学会学術大会。2020.11

13 澤広太：回復期脳血管障害例に対する垂直認知を用いた退院時 FIM の予後予測。  
第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会。2020.8

14 澤広太：characteristics of verticality and prognosis of stroke with pusher and unilateral spatial neglect  
in the recovery phase. 第 18 回日本神経理学療法学会学術大会。2020.11

■論文：

原著

- 1 Mitsukey Miyagami : Kampo Medicine-Current Reserch,Effect of Goreisan on chronic subdural  
hematoma. TheJournal of Kampo,Acupuncture and Integrative Medicine(KAIM)vol 5,number 1,p1-  
6,spring 2010